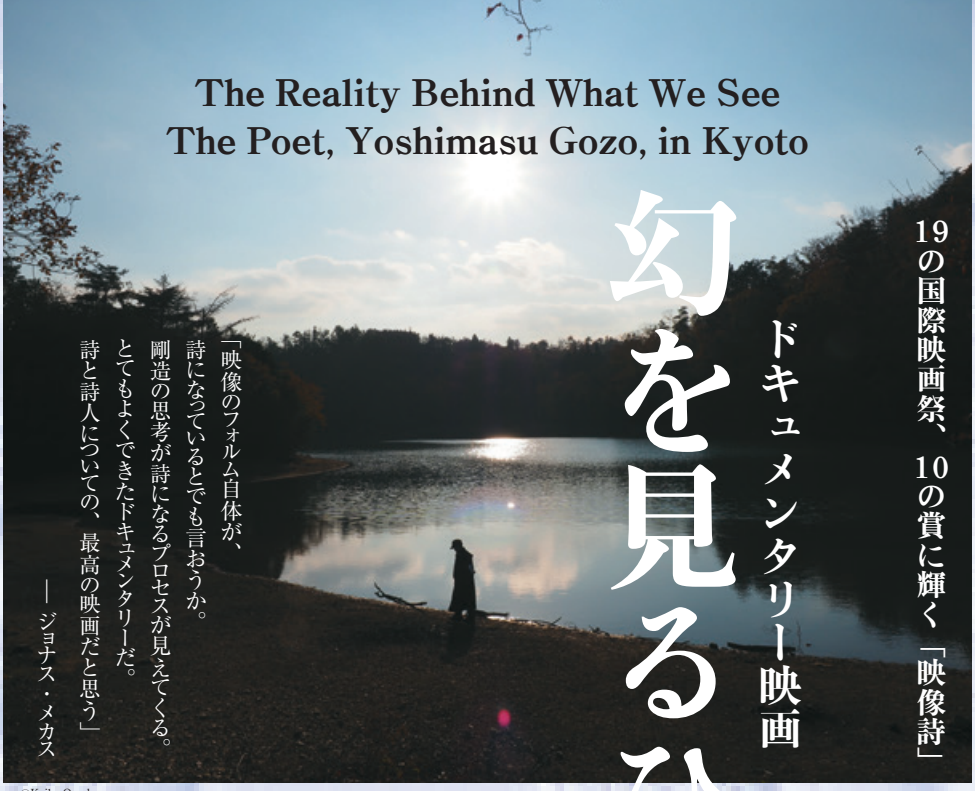


©Keiko Onoda

## 2019年3月2日（土）13:30〜16:30（開場13:00）入場無料

## トーク：吉増剛造 × 城戸朱理

## 日本現代詩歌文学館 講堂

美しすぎるドキュメンタリーだ　――ジョナス・メカス

# 映画「幻を見るひと　京都の吉増剛造」上映とトークの集い

## 「京都に、龍を探しに行きませんか？」

吉増剛造 × 城戸朱理

東日本大震災の津波に衝撃を受け、言葉を失った吉増剛造を、詩人の城戸朱理が京都への旅の企画に誘った。一二〇〇年の歴史を持つ古都・京都は、琵琶湖の8割という豊富な地下水をたたえた、ヴェネツィアに比すべき水の都でもある。東洋の水の神である龍は、京都の豊かな水脈のメタファーだった。

四季を通じての舞台となったのは、岡崎の真澄寺別院 流響院。東山を借景に「近代日本庭園の祖」七代目小川治兵衛・保太郎親子が手がけた池泉回遊式庭園は、夢幻の別世界である。戦前は三菱財閥を率いた岩崎小弥太の京都別邸であり、川端康成が滞在して『古都』を執筆したところとされる。

春には豊臣秀吉の「醍醐の花見」で知られる醍醐寺、夏には京都の水神である貴船神社、秋には『古都』の舞台となった北山杉の産地・中川地区、そして冬には大徳寺瑞峯院、妙心寺―。

詩人は四季の京都を旅し、その水脈に触れた時、失った言葉をゆるやかに取り戻していく。この旅から、「惑星に水の木が立つ」という新たな詩篇が生まれた。

妙心寺・法堂の狩野探幽「雲龍図」の下で、詩人が完成した詩篇を朗読する場面は、この映画のクライマックスと言えるだろう。

19の国際映画祭に招待され、最優秀作品賞・監督賞など10の賞を受賞。「実験映画の父」ジョナス・メカスも感嘆させた圧倒的な「映像詩」が、今、ここに誕生した。

## 19の国際映画祭、10の賞に輝く「映像詩」

世界12大映画祭のひとつ、モントリオール世界映画祭をはじめ、アメリカ、アイルランド、イスラエル、ギリシャ、インド、スペイン、チリ、アルメニア、フランスなど19の国際映画祭で、長編ドキュメンタリー部門のコンペティションに選出され正式招待された。6つのグランプリ、2つの最優秀監督賞など10のトロフィーを獲得している。

**出演**
### 吉増剛造（詩人）
1939 年東京生まれ。文化功労者、日本藝術院会員。主要な文学賞を多数受賞。書くことに加え、朗読し、写真や映像を撮り、旅することで詩を思考する。2 月に 80 歳を迎え、年を重ねると共に表現が先鋭化している日本の代表的詩人である。英訳詩集に「ALICE IRIS RED HORSE」(NEW DIRECTIONS)。

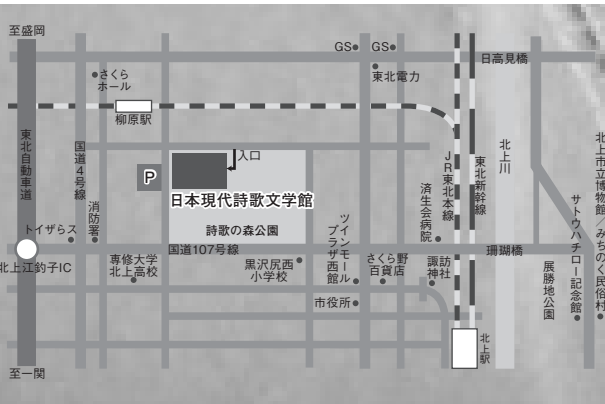
**エグゼクティブプロデューサー**
### 城戸朱理（詩人）
1959 年盛岡市生まれ。『現代詩文庫 城戸朱理詩集』、『幻の母』(2011/ 芸術選奨新人賞 )、『漂流物』(2012/ 現代詩花椿賞 )、翻訳『パウンド長詩集成』など著書多数。岩手日報「日報文芸・詩」選者。2013 年岩手日報文化賞。岩手日報随筆賞選考委員長。アート・ドキュメンタリー番組「Edge」の企画監修も務める。

**監督**
### 井上春生
1963年奈良生まれ。本作で19の国際映画祭に招待、最優秀作品賞・監督賞など10の賞を獲得。全国公開の劇場用劇映画13本を重ね、CMやテレビなど映像作品は500本以上を数える。資生堂など、CMでも多数の賞を受賞。アフガニスタンの監督らと合作映画を撮るなど枠を超えた映像活動をしている。

出演：吉増剛造／監督・編集・プロデューサー：井上春生／エグゼクティブプロデューサー：城戸朱理

翻訳監修・「惑星に水の木が立つ」翻訳：遠藤朋之／翻訳：甲斐兼穂美／翻訳リライター：クレイグ・デール／短歌翻訳：マイケル・フェスラー／朗読：大鷹明良、小林あや／英語朗読：マーク・カーボンティエ／タイトルデザイン：井原靖章／撮影：安田浩一／情景撮影：大木スミオ（J.S.C.）／照明：渡辺大介／デジタルイメージングテクニシャン：岩崎伸哉、森田順／スチル：小野田桂子／録音：中村太郎、奈良田信一／整音：白井康之、石黒裕二／制作：山本礼二、保中良介、赤塚敏史／プロダクションマネージャー：白崎裕美子／出演協力：大友良英／協力：鈴木余位／撮影協力：醍醐寺、妙心寺、大徳寺、瑞峯院、貴船神社、叡山電鉄、京都北山丸太生産協同組合／特別協力：真澄寺別院 流響院／企画協力：真如苑／制作・配給：HUGMACHINE／製作：「幻を見るひと」製作委員会／2018 年／107 分／ハイビジョン作品／https://www.maboroshi-web.com

アクセス
北上江釣子ICから／国道107号線を釜石方面へ東進約2.5km
JR北上駅から／●タクシー：約6分
●バス（岩手県交通）：駅西口乗場より乗車、まちなかターミナル下車徒歩約7分
●JR乗換：北上線横手行（本数僅少）、柳原駅下車徒歩約3分




日本現代詩歌文学館
〒024-8503　岩手県北上市本石町 2-5-60
TEL 0197-65-1728 ／ FAX 0197-64-3621
https://www.shiikabun.jp　　shiika@shiikabun.jp